

< 3・30病院長懇談会報告 >

勤務時間前時間外労働をなくすため業務改善を図る
年休取得数の改善を図るため、組合は、資料と改善
計画の提出を求める

医師の手術業務手当導入、看護師の夜間看護手当
増額の要求に対して、病院側は、経営状況を見なが
ら、財源を確保して工夫すると回答

医師の過重労働を減らすため、18～19 時で仕事を当
直医に引き継ぐ当直医制を導入すると回答

富山大学教職員組合

教職員のみなさん

組合は、3月30日、齋藤附属病院長、米道看護部長らと、医師、看護師等の労働条件の改善について懇談しました。その内容を報告いたします。

1. 育児短時間勤務制度の利用状況について

育児短時間勤務制度は、医師が1名、育児部分休業は、看護師59名、医師3名、コメディカル3名、日勤だけの勤務は、看護師が36名利用している。

2. 院内保育所の利便性向上・定員拡大について

病児・病後児保育は196名、休日保育は242名、夜間保育は10名が利用している。病院の経営状況を見ながら、定員を20名増やすための増築を計画中で、早ければ2年後に着工する予定。

3. 7対1看護の導入後の状況について

昨年4月に70名採用し、658名でスタートし、8名が途中離職し、3月現在で650名在職しているが、定年等、年度末退職が40名なので、4月に57名の採用を予定している。病院収入を増やすために、月曜日にも手術ができるように、土日入院を可能にしたため、土日勤務が増加している。しかし、深夜4名（一部5名）体制は確保している。

4. 看護師の時間外労働の申告について

タイムカードを導入し、申請ルールを決めて運営している。勤務時間前の時間外労働をなくすため、勤務に入ってから情報収集等をするように業務改善、意識改革を図っている。

勤務時間前の時間外労働命令を出すのは手術部だけにしている。

5. 看護師の年休取得について

年休の平均取得日数は、2011年度が9.22日、2012年度が9.37日、2013年度が8.16日、2014年度が6.85日、2015年度が8.29日との報告。これに対して、年休取得日数別取得者数の資料と今後の改善計画を後日提出するように要求し、確認した。

6. 看護師の研修制度について

2013年4月に総合臨床教育センターが設置されて以降、50人程度入れる場所が確保でき、雑誌等の資料整備も進んだ。1～4のラダーに応じた研修を多数準備している。新人研修についてはOJT（現場）研修を重視し、教育計画や個人の成長に合わせて実施している。認定看護師の研修も、病院から助成をもらって、一定数提供している。部下のメンタル面を考慮した関わり方などを学ぶ「関わり方の研修」を、師長27人、副師長62人全員を対象に実施している。

7. 看護師増に伴うハード面での職場環境の改善について

病棟改修の終了に伴い、病棟の職場環境は改善された。現在、外来と中心部門の再整備を行っており、休憩室の確保などに努めている。

8. 医師・看護師の手当の改善について

医師等の手術業務手当については、病院の経営状況を見ながら、手術加算などでの財源を使って工夫していきたい。看護師の夜間看護手当の金沢大学並の改善については、外来、中心部門の改修中は難しいが、財源を確保して、今後検討する。

9. 夜勤体制の改善について

厚生労働省5局長連名通知が「月8回以内の夜勤体制」を求めている。以前は達成できていなかったが、昨年度は、病棟で7.58回、手術室などを含めると7.32回と達成できた。これは、育児部分休業者の一部が、月1回程度の夜勤を引き受けてくれていることによる。今年度からは3交代はなくなり、全部2交代（16時間半夜勤が14カ所、13時間半夜勤が6カ所）に移行した。配偶者が夜勤のある仕事についている人から夜勤免除の要求があることについて、そのような人が結構多く、そのような人についてすべて夜勤を免除することは難しいが、異動の希望は優先しているので、希望を出してほしいとの回答でした。

10. 医師の過重労働・不払い労働改善要求について

医師の過重労働を減らすため、現在、ドクターズ・クラークを病棟14名、外来1名、文書担当5名配置してサポートしており、4月からさらに1名増員予定である。

医師の過重労働を減らすため、主治医制度を廃止し、18～19時で当直医に申し渡して仕事を終える、当直医制を導入する。また、診療ではなく、研究のためにデジタル・カルテを見る場合は、研究室で見えるようにして、労働時間と区別できるようにする。

11. 医師の業務改善・環境改善要求について

ベッドコントロール業務に続き、ドクターズ・クラークが文書作成・代行入力などをすることで医師の業務軽減を図っている。ただ、外科などでは、仕事が終わる19～20時頃にはすでにクラークはいないなどの問題もある。院内情報伝達システムの改善については、iPodを導入して、たいへん便利になった。電子カルテも一般的パッケージ版で使いやすい。

12. 組合事務所の提供について

病院内に組合事務所として使用できる部屋の提供を求めたが、改修工事が終わる来年度以降までは難しいという回答でした。